

2021年10月18日

山口フィナンシャルグループ・YMFG ZONE プラニングと連携協定締結 ～ 社会課題の解決に向けたソーシャル・インパクト・ボンドの活用 ～

株式会社ドリームインキュベータ（東京都千代田区、代表取締役社長 COO 三宅 孝之、以下 DI）は、株式会社山口フィナンシャルグループ（山口県下関市、代表取締役社長グループ CEO 椋梨 敬介、以下 YMFG）、株式会社 YMFG ZONE プラニング（山口県下関市、代表取締役 藏重 嘉伸、以下 YM-ZOP）とソーシャル・インパクト・ボンドに関する連携協定（以下、本協定）を締結いたしました。今後、社会課題の解決に向けて、SIB に関する取り組みを進めてまいります。



我が国では、少子高齢化の急速な進行や様々な社会環境の変化に伴い、多くの社会課題が複雑化・深刻化しています。特に、地方では、東京などの大都市圏への人口流出と相まって、社会課題がより一層深刻になっています。近年、社会課題を解決する新たな官民連携の手法として、ソーシャル・インパクト・ボンド（以下、SIB）が注目されています。SIBとは、行政が民間資金を活用して行う成果連動型の事業であり、英国など海外を中心に組成されてきましたが、日本でも徐々に増えてきています。

DIは、様々な社会課題を戦略・技術・政策の力を有機的に統合して解決する産業プロデュース活動を推進しており、これまでに関連省庁/自治体や複数の民間企業等と連携して、先進的なプロジェクトを実施してきました。直近では、新しい官民連携の仕組みであるSIBを活用して、豊田市の介護予防事業などに取り組んでいます。

YMFGは、地域金融機関として地方創生の実現を使命と考え、金融の枠を超え、社会課題を解決する「地域価値向上会社」へ転換することをビジョンとして掲げています。そのビジョンの実現に向けて、地域のステークホルダーを巻き込みながら社会課題を解決する地域エコシステムの形成・実装など、地域価値向上につながる取り組みを推進しています。また、YM-ZOPは、YMFGの地方創生を専門に手掛けるコンサルティング会社として、地域・域内企業の生産性向上に向けた総合的な事業活動支援を行っています。

本提携では、互いに持つノウハウ・リソースを共用・活用し、SIBスキームの適用検討、自治体・政府との連携、具体案件への投資など、SIB活用による取り組みを進めます。それにより、地域の社会課題解決に繋げるとともに、地域の活性化にも資する取り組みとしていきます。

今後もDIは、多くの仲間・応援団と一緒に社会課題解決の道を切り拓くとともに、DIのミッションである「社会を変える 事業を創る。」の実現を目指してまいります。

■ **株式会社ドリームインキュベータについて** (<https://www.dreamincubator.co.jp/>)

戦略コンサルティングスキルという、ビジネスにおける最も普遍的で有益な根源的スキルと、インキュベーションで培われる“リアル”かつ“当事者”的な経営力を融合することにより、そのスキルを顧客企業へのサービス展開だけでなく、社会のあり方を変え、日本経済を元気にする“ビジネスプロデュース”に取り組んでいます。

■ **株式会社山口フィナンシャルグループについて** (<https://www.ymfg.co.jp/>)

山口・広島・北九州を基盤とする地域金融グループとして、山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行の3銀行を傘下に有しており、金融の枠を超え、地域を巻き込み、社会課題を解決する「地域価値向上会社」を目指すべき姿として掲げ、地域価値向上に取り組んでいます。

■ **株式会社 YMFG ZONE プランニングについて** (<https://www.ym-zop.co.jp/>)

山口フィナンシャルグループ子会社で地方創生を専門に手掛けるコンサルティング会社であり、官民連携（PPP／PFI）の推進において、山口・広島・北九州の3つのエリアで地域プラットフォームの企画運営を主体的に行うなど、案件創出から事業化までに積極的に取り組んでいます。

【本リリースに関する問合せ先】

株式会社ドリームインキュベータ ビジネスプロデュース部門 産業プロデュースプラクティス（吉田・大原）

電話：03-5532-3200 / Email：info@dreamincubator.co.jp